

# ゆきぐわまち

議会だより

平成26年  
第116号  
11月9日  
発行

## 美しい湯沢町の紅葉

### CONTENTS

#### 目次

文教施設整備に約3億円増額	2
閉会中の常任委員会調査	4
神立高原スキー場に町有地貸付	5
開会中の常任委員会審査報告	8
9月定例会おもな議案	9
平成25年度決算	10
平成25年度主な事業	11
決算審査特別委員会審査報告	12
町長への総括質疑	14
町政を問う【一般質問】	15
この人に会いました	26

9月定例会は、平成26年9月9日から9月25日まで開催され、活発な質疑応答が展開され平成25年度決算が可決されました。

●インターネットにより本会議の音声配信を行っています。

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ 本会議録音音声継ぎを選択
- ④ 目次から、日付を選択してください。



●USTREAMによる、インターネット中継配信を行っています。(本会議終了後約1ヶ月間が掲載期間です)

●一般質問は、FMゆきぐに放送による音声配信をしています。

# 文教施設整備にインフレ分約3億円を増額

## 第4回 臨時議会 7月29日

### 南魚沼市に委託する事務の変更について 規約改正

特別支援学校の管理運営に関する事務を追加し、養護老人ホームの設置及び管理運営に関する事務については、

建設費の負担割合を見直し19・56%↓9・31%とするもの。

賛成全員

### 平成26年度一般会計補正予算（第3号）

#### 主な質疑

**問** 労務単価が23・2%上がったので材料費を含めて21・43%で合意したということだが、人件費・材料費・管理費がいくらかわからなければ、わからないまま承認したということになる。

**答** 人件費と材料費の増加分としては計算できない。

**問** インフレスライドの増額であれば平成27年度分も増額されていると考えるが、全額26年度分に計上するのはなぜか。

**答** 平成26年度の出来高及び平成27年度の金

額がわからないので、すべて平成26年度に入れて継続費で処理する。

**問** 総額はいくらか。

**答** 継続費だけだと48億8500万円である。今後、設備及び電気関係のスライド条項適用による増額があれば協議をするが、現在は未定である。

**問** 23年度分を含めれば50数億になるが、国からの補助金と町の支出はいくらか。

**答** 今回増額分は町の支出である。国・県からは16億5000万円、町の借金が16億8400万円、基金の繰り入れが10億3000万円。

**問** 町が支出する金額と、今後借金を返す金額はいくらか。

**答** 後日資料提供する。【後日提出された資料】

年度	平成26年
国県支出金	1,645,929
地方債	1,684,400
基金繰入	1,030,078
一般財源	524,883
合計	4,885,290

(単位：千円)

**問** 契約締結時の平成24年度9月から急激に物価が上昇したのなら、1年後の平成25年度9月には全体スライド条項により増額の請求ができることになっている。

**答** 請求がなかったということは労務単価上昇の適用は平成25年度9月以降とすべきではないか。

**問** 契約締結時の6億円増額理由として大震災の復興需要で人件費・材料費高騰が大きくな要因と説明した。

平成24年度から平成

### インフレスライドとは

湯沢町建設工事請負基準約款に定められている急激な価格水準の変動に対応するための措置です。

今回のスライド額の算定のためには、基準日における工事の完了した分と残っている分を確定させます。

残った工事の増額分のうち、増額前金額の1%は受注者が負担、それ以外の金額がスライド額となります。

歳入歳出予算にそれぞれ3億111万4,000円を追加し

# 65億4,639万円

第3号

#### 歳入の主なもの

財産収入（土地売却収入1件）…………… 91万2,000円 増  
 基金繰入金（学校施設整備基金、財政調整基金）1億9,304万3,000円 増  
 繰越金…………… 1億715万9,000円 増

#### 歳出の主なもの

教育費…………… 2億9,345万8,000円 増  
 （文教施設整備費 2億9,225万9,000円）  
 土木費…………… 268万円 増  
 農林水産業費…………… 220万円 増

25年度までの物価上昇分は、それで吸収されたのではないか。

問 県インフラスラ  
イド条項運用マニュアルには「受注者の責めに帰すべき事由により遅れている工事は残工事に入れない」と書いている。教育委員会から前町長あてに文書も出されている。遅れた理由が100%町の責任で、交流アリーナ棟の工事が全て入っているのはなぜか。

答 そういふ話はあったと思うが、あくまでも2年間で23・2%上昇しているので仕方ないと考えます。

答 確かに5000万円以上だとそういうことだと思いが、今回は議決をいただかなくとも大丈夫と判断した。

【賛成討論】  
角谷 勉・高橋綾夫  
岸野雅人

【反対討論】  
高橋綾夫

### 賛成討論

岸野雅人

今回の3億円は仕方のない支出だと思いません。

しかし、説明がわかりにくい。「人件費がいくら、材料費がいくら、その他がいくら値上がりしました」なら

### 反対討論

高橋綾夫

これまで町は町民に対し、25年度末までに工事も終わり、年度初めに開校するという説明で、町民もそういう認識でいたはずですが、

本来工事が終わっているはずの交流・アリーナ棟等の工事費を物価スライドの算定基準に含めるというのは、どうしても納得できま

せん。したがって、文教施設整備費約3億円増額を含んだ今回の補正予算には反対いたします。

.....

角谷 勉

適切な価格での契約及び適切な水準の賃金支払いは当然のことと認識しているが、次の3点により反対する。  
①平成24年より急激な労務単価上昇が生じ

たならスライド条項により、1年後の平成25年9月に請負金額の変更を請求すべきであるにもかかわらず、今年になってから発注時の平成24年からの労務単価上昇率で請求していること。

②県は受注者の責任による遅延は含めないとしているが、交流アリーナ棟が全て含まれている。  
③条例により工事の契

約は5000万円以上は議会の議決を要する。契約金額の10%以内は議会の議決を必要としないが、9・9%ということ

で議会の議決を経ず2億9200万円を確定したこと。

### 賛成多数で可決

高橋 五輪夫  
岸野 雅人  
白井 孝雄  
関 忠夫  
宮田 眞理子  
今村 定一  
半澤 利貞  
師田 保

【賛成8】

【反対3】

平成13年購入の車道用除雪車が、馬力の低下及び経年劣化が激しいため入れ替える。

3303万7200円

.....  
【賛成全員】

ロータリー除雪車  
購入契約の締結に  
ついて

# 閉会中の常任委員会調査

**厚生福祉常任委員会** 8月25日

●国保会計は  
29年度から県が  
保険給付

国保税は平成23年度から据え置き、国保は29年度から保険者が県となる。保健事業や保険料の徴収は町でやり、保険給付は県がやることになる。

●疾病の割合をみると、がん治療費が急増しているが対策は。

●40歳以上の国保会員の半数以上の方が特定検診を受診していない。積極的に受診を勧めていく。

●医療・介護総合  
法案とは

介護保険見直しの概要についての説明。

●この計画はボランティアに依存する部分

**産業建設常任委員会** 8月25日

●長岡国道事務所  
湯沢維持出張所  
の町内事業は

●夏場の草刈りの回数。

●年1回だが、要望があればさらに可能。

●「塩カル」含んだ雪による被害補償などはあるのか。

●調べてみるが補償となると部署が変わる。

●353号線、開通の情報はあるか。

●冬期には通したいらしい。

●湯沢砂防事務所  
の町内事業は

●4か所の砂防堰堤、3か所の保全工、2か所の堰堤改築、2か所の流路工改築、1か所の下流床周工群の説明

●自然環境に調和し

**総務文教常任委員会** 8月26日

●湯沢町の消防体制は

南魚沼市消防本部 勝俣消防長、湯沢消防署 高橋署長より説明をきく。

①湯沢消防署の現在の体制

8名体制の3交代制、小隊は消防分隊・救助分隊・救急分隊、各小隊には2名の救急救命士を配置。

②ドクターヘリ

平成24年10月30日運航開始。基地は新潟大学医歯学総合病院、救命率3割以上。完治によって社会復帰は1・5倍。

③はしご自動車

湯沢町には中高層建築物が185棟あり、15メートル以上のはしご車が配置義務。

平成4年に35メートル級のはしご車を

配置、現在22年が経過。入れ換え時期に来ている。

●はしご車の価格は。

●湯沢に配置の35メートル級だと2億円くらい。

④湯沢消防署の訓練棟

平成5年に350万円を費やして訓練棟2基を建設したが、21年が経過し老朽化が進み、安全面を考慮して移動・新設が必要と考えている。

●計画の概要は。

●何も決まっていない。



35m級はしご車



# 神立高原への町有地貸付に対する反対討論

関 忠夫

昨年11月19日の臨時議会において、神立高原町有地の貸し付けは否決された。所有地を持ち登記をすることと、リフト整備をしっかりと行うことが議会議決であった。

充分であるか判断することが難しい。専門家の意見なく契約書内容を精査・検討が充分にできているのか。  
正式な競売前の町有地貸付になるため、反対します。

半澤利貞

町有地の貸し付けを認めると、裁判所の競売で落札が不成立になった場合でも営業が可能となってしまう。貸し付けを急いで承認してしまうのは裁判所での競売にライバルが出現し難くなり、競売での平等性を損なう恐れがある。契約書の内容が

今年に入り、何度か総務課の説明を受けました。裁判所から建物や設備・リフト等の評価を調査するための業者が8月31日に報告書を提出し、精査して落札予定価格を準備し、公募する行程となっていた。

調査結果を裁判所が把握しないうちに契約をすれば、競売になってから札を入れても土地の契約が成立していれば入札する人がいなくなる。たとえ入札が行われても、予定価格に程遠く何回も不調・不調で、結局マックアースが落札に有利となる。  
この春には、地権者に地代が振り込まれたり（地権者の口座番号が解る等）、以前の会社とグルとしか考えられない。肃々とルールに則って契約を交わすべきと主張した。

# 神立高原への町有地貸付に対する賛成討論

師田 保

湯沢町は観光立町であり、一人でも多くのお客さんが来ることを望んでいる。

神立高原スキー場は、かつて大変賑わったスキー場である。スキー産業が低迷している中、

マックアースは資産取得をし今年度営業することを前提に、夏場の草刈り等、管理に力を注いでくれている。

現在、資産取得が遅れているのは裁判所の手続きの遅れによるもので、マックアースの責任によるものではない。



# 議会活動日誌



- 7月1日 「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会要望活動 (国会)
- 4日 湯沢町高齢者運動会 (国会)
- 8日 第13回議会広報常任委員会
- 9日 「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会要望活動 (県・関係省庁)
- 14日 中国駐新潟総領事館表敬訪問 (新潟市)
- 15日 第14回議会広報常任委員会
- 18日 第15回議会広報常任委員会
- 22日 議会基本条例研究会
- 23日 議会情報交換・意見交換会
- 23日 町村議会会広報研修会 (新潟市 自治会館)
- 28日 第5回議会運営委員会
- 29日 議員勉強会
- 30日 第4回臨時会
- 30日 一般国道353号十二峠新トンネル開削期成同盟会総会 (十日町市)
- 31日 上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会 (上越市)
- 8月11日 F I S アルペンスキーW杯・全日本スキー選手権大会湯沢町実行委員会設立総会
- 14日 湯沢町成人式
- 18日 議員勉強会

2年連続で休めばスキー場の営業としては絶望的なことになる。地域の活性化がなければ町全体がよくなる。湯沢町の活性化を願う、賛成するものです。

今村定一

雪を基礎とし、雪と共に今日を築いた観光立町湯沢において、スキー場はもつとも重要な活力の一つであります。営業をやりたいくてもやれなかった一年、スキー場は元より関連事業者の思いは無念の一言だったと感じています。

私は本件について自身の進退をかけて賛成をした経緯があります。説明によれば、会社側としてはやるべきこと、なすべきことは全て尽くし、あとは裁判所の進行を待つだけとのことあります。

休止したスキー場の再開には時間を要します。安全は基より施設設備の点検改修等、やるべきことに時間は必要であります。今ここに上程されたことは的を得た提案であります。会社として今後も取得のために尽力をされ、一日も早い朗報を期待して、賛成討論いたします。

角谷 勉

固定資産税の支払い義務が生じないことを承知で町有地を貸付け、昨年度2億円以上が徴収不可能になった。

従って昨年度は固定資産税の支払い義務が生ずる形で貸付することが議会の責務と考え、営業権のみでの複数年の町有地の貸し出しには反対をした。

①従業員を常駐させ、施設やゲレンデの整備を行っており、社内に安全対策委員会も設置したこと

②資産の取得が遅れている理由が裁判所の都合によること  
③資産の取得及び登記が来年に延びた場合、固定資産税分を町に寄付をすること

④契約が1年であること  
さらに、町内及び地域への経済波及効果を考慮し、賛成をする。

白井孝雄

昨年営業できなかつたことは我々の想像をはるかに超えて、いろいろな方面に影響が出てい

ます。もし今年も営業ができなると、地域経済にあたる影響は計り知れないものとなります。残念ながら、貸し付け条件である施設の資産取得が今現在できていません。この責任はマックアース側にあるのではなく、競売手続きが遅れている裁判所長岡支部にあります。

この冬のオープンに向けて準備を進めてきたマックアースの努力は評価できるものであります。したがって、貸し付けの許可を出すべきものと考えます。

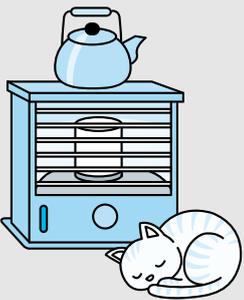
賛成多数で可決

【賛成9】

- 高橋 五輪夫
- 岸野 雅人
- 高橋 綾夫
- 角谷 勉
- 白井 孝雄
- 宮田 眞理子
- 今村 定一
- 佐藤 守正
- 師田 保

【反対2】

- 関 忠夫
- 半澤 利貞



- 20日 一般国道17号線 新三国トンネル開削促進期成同盟会総会(みなかみ町) 議員勉強会 (帰庁後)
- 25日 第6回議会運営委員会
- 第4回厚生福祉常任委員会
- 第5回産業建設常任委員会
- 26日 第5回臨時会
- 第6回総務文教常任委員会 (新潟市)
- 29日 新潟県議員全員研修会 (新潟市)
- 9月2日 湯沢町戦没者慰霊祭 (瑞祥庵)
- 3日 第6回議会基本条例研究会
- 5日 湯沢町敬老会(カルチャーセンター)
- 第6回議会運営委員会
- 第16回議会広報常任委員会
- 6日 湯沢学園体育祭
- 7日 湯沢町総合防災訓練
- 8日 議員勉強会
- 9日～25日 第6回定例会
- 26日 商工会青年部との懇談会
- 中華人民共和国成立65周年記念レセプション (新潟市)
- 29・30日 新潟県町村議会議長会(関川村)
- 30日 上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町」整備促進連絡協議会 (十日町市)

# 開会中の常任委員会審査報告

## 産業建設常任委員会

(9月9日)

委員長 関 忠夫  
(他委員 7名)

### 平成26年度補正予算

- 下水道特別会計補正予算  
平成元年購入の機器の入れ替え  
……………賛成全員

### 請願

- 政府による緊急の過剰米処理を求め  
る請願……………賛成全員



米価の維持安定を

## 総務文教常任委員会

(9月11日)

委員長 今村 定一  
(他委員 6名)

『子ども・子育て支援法』制定と『児童福祉法』一部改正にともなう3条例の制定

### 主な質疑

- 問 公的施設では運営に変化があるのか。
- 答 ありません。
- 問 では、事業所内保育は。

## 厚生福祉常任委員会

(9月12日)

委員長 佐藤 守正  
(他委員 6名)

### 平成26年度補正予算

#### ● 国民健康保険特別会計

#### 加入者が減少、減収明らか

被保険者数の減少により、減収見

- 答 内容により申請があれば対応してゆく。

- 問 学童保育の対象学年が拡大するが、対応はどうか。

- 答 大幅には増えないと見ている。  
……………賛成全員

### 請願・陳情

- 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願(意見書文案の訂正あり)  
……………賛否同数(委員長が採択)

- 『学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書』の採択に関する陳情  
……………賛成全員

込みが明らかとなった。

収入不足分を基金、繰越金、一般会計から繰り入れる。

### 主な質疑

- 問 支準備基金が少ないが、大丈夫か。

- 答 もしもの場合は一般会計からの対応をする。

- 問 被保険者数減少の理由は。

- 答 4～6月で、社会保険に移られた方が230人。



町内の保育所

……………賛成全員

● 後期高齢者医療特別会計

繰越金や納付金が確定。  
……………賛成全員

● 介護保険特別会計

25年度決算にともなう精算。  
……………賛成全員

### 請願

- 軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情……………賛成全員

# 9月定例会 おもな議案

人事

● 総合計画審議会委員

12名の嘱託：それぞれ同意

● 教育委員会委員1名の任命

同意

条例制定

『子ども・子育て支援法』制定と『児童福祉法』一部改正にともなう3条例(委員会へ付託)

本会議…可決

平成26年度補正予算

○ 一般会計(5号)

○ 国民健康保険特別会計

○ 後期高齢者医療特別会計

○ 介護保険特別会計

○ 下水道特別会計

(各委員会へ付託)

本会議…それぞれ可決

岩原奥添地ゲレンデ再開!

土地貸借契約の締結

岩原スキー場の、奥添地ゲレンデ、第一ロマンスリフトとパラルルコース再開のための契約

可決

請願・陳情

① 政府の緊急過剰米処理を

② 消費税増税の撤回を

③ 軽度外傷性脳損傷の周知と労災認定基準の改正を

④ 私立高校への助成の増額と拡充を

(各委員会へ付託)

本会議…①③④採択

②不採択

## 起業支援補助金、に500万円

平成26年度一般会計補正予算(第5号) 審査特別委員会 (9月9日)

委員長 岸野雅人

副委員長 宮田眞理子

主な質疑

問 起業支援補助金とは。またその周知方法は。

答 (詳細説明の上) 広報・ホームページ、チラシ、プレスリリースなど。

問 中学校振興費の自動車借上げ料とは。

答 できるだけ今の形態を残したい。費用は寄付金のみでは厳しい。

賛成全員

平成26年度一般会計

総額1,753万円を追加(5号)

総額1,051万円を追加(6号)で

# 65億8,374万円

第5・6号

歳入の主なもの	がんばる地域交付金	723万円	増
	蓬ヒュッテ改築寄付金	1,150万円	増
	財政調整基金繰入金(5号)	1,247万円	増
	後期高齢者医療精算金	1,577万円	増
	臨時財政対策債	3,920万円	減
	財政調整基金繰入金(6号)	1,051万円	増
	湯沢町起業支援補助金	500万円	増
	社会保障・税番号関連	366万円	増
	道の駅みつまた外構増	350万円	増
	(養老)魚沼荘運営業務	254万円	増
歳出の主なもの	国保会計への繰出し増	355万円	増
	可燃ゴミ処理	1,417万円	減
	道路と橋の修繕料増	900万円	増
	消雪用井戸ポンプ更新	280万円	増
	エスボ川河川改修増	300万円	増
	消防業務(南魚沼市)	674万円	減
	大峰線法面の復旧工事	250万円	増
	観光看板や横幕等制作の増(6号)	285万円	増
	駐車場造成工事増(6号)	600万円	増

平成26年度一般会計補正予算(6号)

本会議審査

歳入の主なもの

▽ 財政調整基金から

【約1051万円】

歳出の主なものは下の表へ

▽ 総合福祉センター屋根防水工

事の増額 【約151万円】

▽ 観光費看板や横幕等制作の増

額 【285万円】

▽ 駐車場造成工事の増額

【600万円】

本会議…賛成全員

# 9月定例会 平成25年度決算審査

## 歳出

(水道・病院事業  
会計を除く)

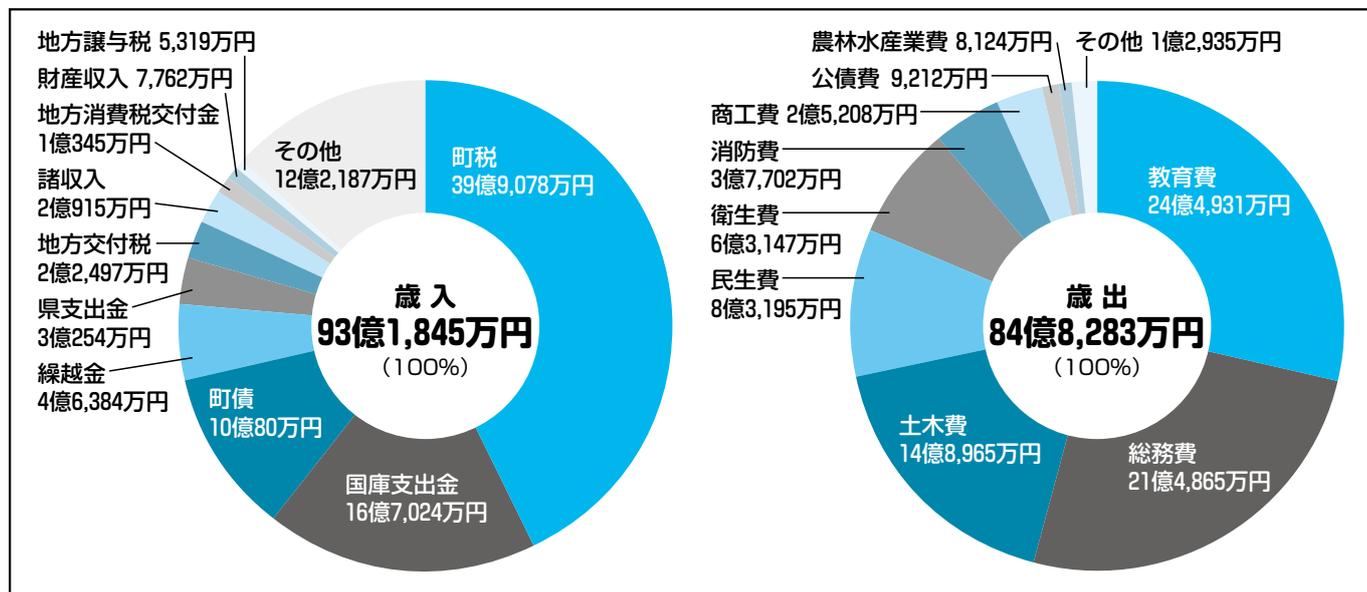
### 一般会計 84億8,283万円

### 総額 116億2,027万円

## 平成25年度 決算状況 (人口8,289人：平成25年度末)

会計区分	一般会計		特別会計				企業会計			
			国保	後期	介護	下水	水道事業		病院事業	
歳入	93億 1,845万円	32億 3,854万円	11億 2,450万円	9,522万円	7億 8,962万円	12億 2,920万円	収益的	収入	3億 6,088万円	1億 4,938万円
								支出	3億 5,935万円	1億 9,722万円
歳出	84億 8,283万円	31億 3,664万円	10億 8,442万円	9,514万円	7億 7,102万円	11億 8,606万円	資本的	収入	281万円	9,100万円
								支出	1億 3,820万円	1億 3,252万円

## 一般会計決算の状況 (自主財源：63.7%・依存財源：36.3%)



## 平成25年度末の 地方債(借入金)と基金(貯金) の状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)残高	23億7,073万円	町民1人当たり 29万円
基金(貯金)残高	24億7,308万円	町民1人当たり 30万円

## 用語 解説

総務費：町の事務管理、町所有の土地や建物の維持管理、防災交通安全対策などの経費  
 民生費：児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など社会保障関係の経費  
 衛生費：各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理対策などの経費  
 商工費：商工業や観光の振興のための経費

# 平成25年度主な事業



土樽地内土壌汚染対策工事  
4億1,475万円



文教施設整備  
2億1,411万円



除雪委託料  
1億9,206万円



三俣地域情報交流センター工事  
8,539万円



消雪パイプ延長・消雪用電気料  
6,789万円



大源太キャンプ場トイレ合併浄化槽設置工事  
2,793万円



湯沢高原関係  
2億2,734万円



雪国文学散歩道整備  
798万円

# 決算審査特別委員会審査

9月12日～9月18日



委員長  
高橋 五輪夫

平成25年度	
● 一般会計決算……………	賛成多数
● 国民健康保険特別会計決算……………	賛成全員
● 後期高齢者医療特別会計決算……………	賛成全員
● 介護保険特別会計決算……………	賛成全員
● 下水道特別会計決算……………	賛成全員
● 水道事業決算……………	賛成全員
● 病院事業決算……………	賛成多数

## 主な質疑

### 【総務課】

**問** 土壌除染工事に係る地下水対策工事の進捗状況は。

**答** 土対法関連で年4回、地下水調査を実施

する予定である。汚染物質については基準値以内で問題はないと捉えている。

**問** ハザードマップに危険地区として記載されているところにいる住民から苦情は来ているか。

ない。

**答** 確かに資産価値が下がるといふ声は聞く。しかしながら、危険を周知し住民の身を守る。ことが何より大事と考える。

### 【税務課】

**問** 徴収嘱託員の体制はいかに。

**答** 庁舎内に3名、東京事務所内に3名の、合計6名の体制となっている。

### 【健康福祉課】

**問** 子宮頸がん事業について対象者36名で接種者が0名とはどういうことか。

**答** 国の対応状況の影響もあり、中一が対象となるが現在も未実施である。

### 【健康福祉課 (国民健康保険特別会計)】

**問** 人間ドッグの助成状況はいかに。

**答** 受診者数は少しずつながら増加。今年から35歳以上を対象、対象病院は湯沢・大和・小千谷の各病院となり、23600円の助成。

### 【健康福祉課 (病院事業会計)】

**問** 療養病棟の稼働率低下の要因は。

**答** ゆのさと園30床増床を含め、近隣に施設ができて療養型施設の収容人員が増加したことが要因と考える。ちなみに、ゆのさと園の待機者は50名程度いる。

### 【地域整備課】

**問** 今冬(25年度)の除雪にかかる消耗品・電気代の状況はいかに。

**答** 塩カルについては昨年よりはいくらか少ない。電気代については6400万円と昨年よりかなり増加している。除雪費トータルでは2000万ほど増加。

### 【温泉通り整備事業】

とは。

# 決算審査報告



代表監査委員  
高野 繁太郎  
議員選出監査委員  
宮田 眞理子

## 決算審査の結果

### 【一般会計・特別会計】

(特別会計は国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道・基金の運用)

#### 1 総括

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類はいずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は帳簿、書類と照合した結果誤りのないものと認められ、予算の執行及び事務処理はおおむね適正であると認められた。

#### 2 基金の運用状況

基金の運用状況を示す書類の計数は、帳簿と照合した結果誤りのないものと認められ、運用状況は妥当である。

### 【企業会計】(水道事業会計・病院事業会計)

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び明細書は関係法令に準拠し作成されており、適正であると認められた。

**答** 町・県各2分の1補助にて種々の検討案を作成しているところ。

**【会計管理者・町民課長】**

**問** ストックヤード開設日について、増やすことはできないか。

**答** 担当と確認しながら検討を進めたい。

**【教育課】**

**問** 童画パリ展実施にかかる経費はどのくらいかかっているか。

**答** 平成25年度については86万4000円、平成26年度については131万4000円である。

**問** 保育園の給食について地元食材の使用状況はどうか。

**答** 基本的に町内業者より食材を納入し、自園で調理している。引き続き、食育にも力を注いでいきたい。

**【産業観光課】**

**問** 鳥獣被害防止対策協議会の活動状況はい

かに。新しい対策も必要では。

**答** 週3回、パトロール及びテレメトリー調査を実施している。今後、実施方法等も含め検討を進めていきたい。

**問** 湯沢産コシヒカリについて地産地消、食の観点からも学校給食へ積極的な導入を推進すべきでは。

**答** 学校給食米と一般米の価格の乖離が一番の問題である。そこをどう解決するか教育課と検討していきたい。

**【上下水道課】**

**問** マンションについて給水する予定はあるのか。

**答** 下水については1件接続したが、水道はない。条件が合えば供給するという対応をしている。

マンションごとの事情、条件も相違があるため、個別に対応させていただくことになる。



開設していると便利なストックヤード

**【水道事業会計】**

総収益は3億4450万5000円、総支出は3億4482万2000円で、純利益はマイナス31万7000円となった。利益は前年度比で914万3000円減少した。

2月中旬の関東地方の大雪による観光施設のキャンセルが大きく起因していると考えられる。

**【病院事業会計】**  
当年度純損失が4784万5000円となり、一般会計より4000万円を繰入した。

**【審査意見】**

**【一般会計・特別会計】**

一般会計の歳入総額93億1845万4000円、歳出総額84億8283万3000円、実質収支は2億1388万5000円の決算となりました。他会計への繰り出し金等は9億8505万2000円でした。

平成25年度は単年度における財政力指数が0.996となり、平成24年度に続き普通交付税交付団体となりました。町の財政は、現在のところ健全な状況を維持していますが、町税収入が今後も減少する傾向であります。

生活環境の整備や福祉・医療の充実などの課題に直面しています。最小の経費で最大の効果を挙げるといふ財政の基本原則を確認し、行政組織の見直しなど経常経費の抑制に努めてほしい。

観光の町として景気を浮揚する施策、就労の場の確保を通して人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり町民が安心して暮らせる町づくりを進めてください。

(14ページに続く)

# 町長への 総括質疑

**問** 税の滞納額が10億円を超えている現状を踏まえ、種々の税、料金の滞納をこれ以上に増加させないために、町長を先頭とした新たな取り組みが必要と解するが、いかがか。

**答** 徴収嘱託員・県税部との連携等、種々の取り組みを実施している。今後も、徴収に向けて全体で全力を傾けて取り組んでいきたい。

**問** 観光協会・商工会等、現実的には削減できない補助金については、事業評価で、ロジック判定にすべきでないと解するが、いかがか。

**答** 評価委員会が財政状況を踏まえ検討している。自立してもらいたいという願いである。評価は評価として理解

願いたい。

**問** 湯沢産コシヒカリの学校給食への完全導入について、町長の英断を求めたいが、いかがか。

**答** 中山間地の農業維持のため、地産地消のため、食育の観点からも学校給食米との価格の乖離の問題を解決して、来年度の完全実施に向け、検討を重ねていきたい。

**問** 登山やトレッキング客に対しての案内看板整備を求めたい。いかがか。

**答** 経年劣化が生じていることは報告を受けているところだ。案内看板の整備については西口より順次実施している。他にもについても順次実施したい。



案内看板整備を（清津峡トレッキングコース）

国民健康保険特別会計の歳入総額は11億2450万4000円、歳出総額は10億8441万7000円となり、実質収支は4008万7000円の黒字決算となっておりますが、一般会計から8245万7000円を繰り入れていますが、国保税の未納が5043万1000円に達し、不納欠損も322万円となっております。徴収率は83・2%と前年より2ポイント以上改善しています。さらに徴収率向上に努めるよう望みます。平成25年度末現在10億9620万3000円の滞納があります。滞納の解消は町税に限らず、特別会計や他の歳入費目などにも共通した全町的な重要課題です。町民からの信頼維持と安定財源の確保を図るため、地域経済の影響を考慮しながらも、滞納の解消に向けて引き続き毅然と取り組んでください。

## 【水道事業会計】

給水利益の減少から、当年度決算で31万7000円の純損失となりました。給水収益の増加は今後も難しい中で、施設の老朽化に伴う修繕費用や電気料金の値上げによる動力費等の増加が見込まれ、独立採算を維持するために使用料金の徴収率向上と諸経費の削減は不可欠です。

## 【病院事業会計】

恒常的な赤字体質改善のため、経営の効率化や診療体制の充実等が急務となっております。今後も地域医療の核として町民が安心して安全に暮らせる町づくりのため「地域に信頼され愛される、かかりつけ病院」となるよう指定管理者が町と一体となって病院を盛り立てる方策を考え、経営が安定するよう望みます。

# 町政を問う

9月  
定例会



議員が町政全般に対して、事務の執行状況や政策方針をただしたうえで政策提言いたしました。

- 佐藤守正議員「町職員の過重負担の軽減を」…………… 16ページ
- 角谷勉議員「自主防災組織率を向上せよ」…………… 17ページ
- 高橋綾夫議員「ソフト面での防災対策を進めよ」…………… 18ページ
- 今村定一議員「吉村昭氏、津村節子氏への対応をどう考えているか」19ページ
- 高橋五輪夫議員「湯沢町の観光資源・文化の認識を訊ねる」… 20ページ
- 白井孝雄議員「旧神立小学校・神立保育園の今後の活用は」21ページ
- 半澤利貞議員「道路改良の約束事について」…………… 22ページ
- 関忠夫議員「公共施設の敷地内に喫煙所の設置を」…………… 23ページ
- 岸野雅人議員「湯沢高原の運営と駐車場対策は」…………… 24ページ
- 南雲正議員「新潟県のデータセンター誘致に対する町の対応は」25ページ

質問

# 町職員の過重負担の軽減を



佐藤 守正

## 答 弁 適正な定数と適材適所を検討したい

**問** 平成25年度国家予算の「地域の元気づくり事業費」「がんばる地域交付金」は、いずれも市町村が行政改革（職員給与の抑制・定数削減）をどこまでやったかを評価して、行革が進んでいるところには多く配分するというものだった。

**答** これは地方自治・分権に対する侵害だと思いが、町長の認識はいかがか。

**問** 国保診療所が町から離れた直後、町職員は187人だった。それがその後急速に減ら

されて、今は141人になっている。

残業の常態化や心の病で休職する人が絶えないなど、今の執行体制には無理があるのではないか。さらに平成28年には130人にとしているが、その計画は変えないのか。

**答** 130人計画は今後の課題として考えていきたい。心の病で休む職員が数%いるなどの問題もあり、適正な定数と適材適所を勘案しながら、今後の課題としたい。

**問** 年金の支給開始年齢が年々遅れているのに、定年を待たずに辞めていく方が毎年何人もでている。これは不自然なことだ。

**答** 病気休業の職員が絶えないなど、職場の労働環境に問題があるのではないか。町長に真摯な検討を要請したい。



職員に過度な負担はないか

## 質 問 原発再稼働反対決議の理念の堅持を

### 答 弁 総合的に判断したい

**問** 3・11大災害の一年後に湯沢町議会が行った「柏崎刈羽原発

の再稼働反対決議」は、大多数の町民の心情を代弁した決議であった。

町長としてもこの決議の理念は堅持すべきだ。

**答** 町民代表の議会の決議なので重く受け止めている。再稼働については今後の原子力規制委員会や国の動向を見て、総合的に判断をしていきたい。

**問** 湯沢町は5キロメートルや30キロメートル圏内からの避難者の受け入れ地域と指定され、その受け入れ計画を作らねばならないが、町の人口の半分もの避難者を長期に亘って受け入れることなど、どだい無理なのではないか。

**答** 4000人もの避難者を受け入れるためには、その体制をきちんとつくらねばならない。避難してくる市町村の避難計画の内容を精査する中で、町の対応を再度考えねばならないと思っている。

質問



角谷 勉

# 自主防災組織率を向上せよ

## 答弁 積極的に取り組む

**問** 中越地震で旧山古志村は発災当日に住民全ての安否が確認でき、住民同士の「共助」の



9年前に結成された堰場町内の自主防災組織

結果といわれている。

**答** 湯沢町地域防災計画では、住民の責務として「住民は自らの安全は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る」、町の責務として「町は自主防災組織の組織率の向上に努める」としている。

自主防災組織の組織率は、南魚沼市は100%に近い数字である

が、湯沢町の組織率は52・9%と極端に低い。積極的に組織率の向上に取り組む。

**問** 観光の町であり、町人口の数倍の方が滞在することもある。災害時の対応が複雑である。災害時、要援護者の把握及び避難支援はいかに。

**答** 把握はしているが、今後共通認識を図る。

**問** ハザードマップや地域防災計画が策定さ

れているが、認知度は低い。住民参加の機会づくりが必要ではないか。

**答** また、当町のハザードマップや地域防災計画の概要、自主防災組織の重要性や必要性、補助制度等を掲載した「自主防災組織の手引き」を作成し、自主防災への関心を高めては、機会づくりや手引き作成を検討する。

## 質問 厚生労働省、県庁、他市町村同様、役場敷地内を分煙に

### 答弁 敷地内全面禁煙を継続する

**問** 学校や病院の敷地内全面禁煙は理解できず。役場敷地内は県庁や新潟自治会館、他市町村同様に敷地内分煙を導入すべきではないか。

**答** 健康増進法の主旨を踏まえ、禁煙を勧めるので敷地内は全面禁煙とする。

**問** 健康増進法では「多数の者が利用する施設（室内）は、受動喫煙を防止するための処置を講ずるよう努めなさい」としている。当町のたばこ税は9100万円と多額である。来庁者の喫煙者に対しての配慮は。

**答** 感謝しているが、

禁煙を勧める。

**問** 敷地内で来庁者が喫煙をしている姿を見かけるが、対応は。

**答** 見かけたことはない。今後、役場敷地内禁煙をわかりやすく告知する。

**問** 多数の人が利用する施設を敷地内禁煙と解するならカルチャーセンターや公園等、町の施設は。

**答** 敷地内禁煙を検討する。

**問** 厚生労働省、都道府県、各市町村も分煙である。役場敷地内分煙を検討しては。

**答** 敷地内全面禁煙は3年間行っているため、今後も継続する。

### ●新潟県の禁煙・分煙宣言施設の敷地内禁煙の要件

- ①敷地内全てにおいて喫煙を禁止している。
- ②敷地内すべてが禁煙であることをわかりやすく標示してある。

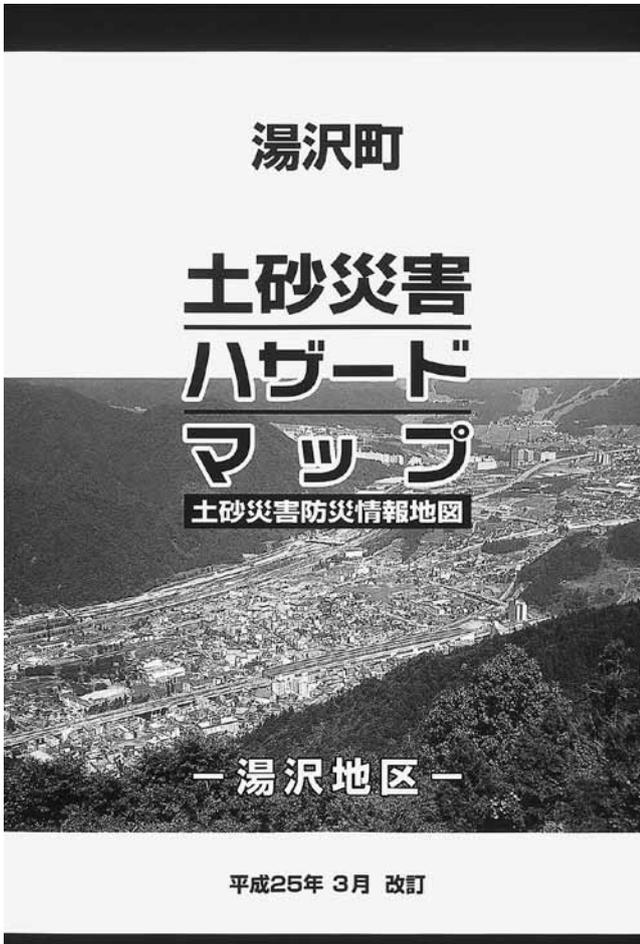
質問

# ソフト面での防災対策を進めよ



高橋 綾夫

答弁 様々に検討し取り組んでいく



見直しの必要があるのでは

記録的とか観測史上初という気象が珍しくない今、町民の生命を守るために最も必要なのは、危険情報を「いち早く察知し」「速やかに伝達して」「安全な所に逃げる」。この

3つが最も大切と思うが、現状の湯沢町はこのソフト面での対策が不十分で、早急な対策が必要だと思います。そこで今回はこの3つを1つずつお聞きします。

**問** 現在、町民個々の気象情報収集能力は年々すごいスピードでアップしているが、現状それが危険予測につながっていない。避難勧告や指示が出される前に避難の準備や自主避難ができるよ

う、発令基準の明確化と周知をするべきではないか。  
**答** 雨量だけのお知らせは難しいが、専門家からの意見や過去の情報収集から始め、危険情報を的確に発信できる体制を作りたい。  
**問** 自主防災組織率県下最下位(約半分)という当町では、いざというときの情報伝達がきちんとできない。早急に全町内会及びマンションを含めた大

型宿泊施設での組織化と訓練を行っていくよう町からの指導が必要と思うが。  
**答** 組織率の向上、啓発活動に取り組んでいく。  
**問** 当町のハザードマップでは警戒区域内

に避難場所が指定されている所があるが、早急に安全な所を避難場所に指定すべき。  
**答** 鉄筋造りの二階以上も選択肢に入れて早急な検討をしていきたい。

## 質 問 統合学園の運営と 教育行政に対する決意は

### 答 弁 健康状態や家庭の事情が許す限り 精一杯頑張っていく

**問** 5つの小学校プ

**答** これからも健康状態や家庭の事情が許す限り精一杯頑張っていく

ラス中学校の統合、そして新しい教育システムの導入という大改革にはさまざまな問題も出てくると思うが、教育長が以前から言われていた「オール湯沢」で取り組んでいくという考えのもと、今まで以上に子どもたち、保護者、町民、そして現場の先生方の声を大切に、町民が誇りに思える学園づくりに取り組んでいただきたいと思います。教育長の決意は。

また多くの意見を取り入れながら法にのっとり、最終的には校長の職務権限、教育委員会の職務権限にのっとり判断し進めていく。



今村 定一

質問

# 吉村昭氏、津村節子氏への対応をどう考えているか

答弁 ① 次回の再会時に直接話をしたい

問 就任当初ご夫妻について伺いましたが、今後の課題との答弁でしたが、今日までに津村氏との接触が図られたか、町としての考えを伺う。

答 お墓参りの際に会えればと思っておりますが、会えませんでした。産業観光課長が対応し湯沢高原に案内をして一時を過ぎました。次回お会いした際に話をしたい。

質問 湯沢学園完全開校に当たって教育委員会の役割を果たしているか

答 ② 学園の開校にあたって教育委員会が全て

問 2学期から交流アリーナ棟が完成し、完全な姿でスタートするに当たり  
① 保護者及び児童生徒に、学園のあり方や  
② 認定こども園の開園まで児童クラブを交流棟内に設置される  
方向性について、教育委員会として示しているか。



仮設でスタートした交流アリーナ棟での児童クラブ

が、内容について、また保護者に対して説明は済んでいるのか。

答 湯沢学園建設計画以来、地域や保護者説明会を通して伝えてきています。

町民・保護者・児童・生徒が一同に集う機会は少ないが、教育

フェスティバル等を通じて今後も伝えていきます。

児童クラブについては専門施設の完成までの期間、利用者の安全安心を重視して学園内に仮設対応で実施します。保護者等への説明も済ませ、理解を頂いています。

質問 定住・交流若者支援について保護者・独身若者達との直接懇談はあるか

答 ③ 要望申し出があれば考える

問 定住人口の増加策の一端で子育て応援金の実施、交流人口の増加策でマンション管理組合との会合など進めている。

の計画はあるのか。

町民懇談会を町内くまなく回っているが実際の懇談会において、若い人たちの姿や声が直接聞けたのか疑問である。若い人の声を聞くにはそれなりの企画が必要であるが、今後

地域懇談の中でも若いお母さんの参加もありました。個別の懇談も大切と思うが計画はありません。要望等があれば考えます。

婚活支援については検討中ですが、何かの形で示します。

が必要であるが、今後

質問

# 湯沢町の観光資源・文化の認識を訊ねる



高橋 五輪夫

答 弁 湯沢の自然・史跡・観光施設と認識している

**問** 日本人は宣伝やアピールが下手だと言われる。さらに田舎の間なら謙遜もあり、自分たちの町や文化は誇れるという認識がことさら弱いのではないかと思う。

しかし都市に人も物も集中することで逆に地方の文化が見直され、観光の本来の「光を観る」という意味では、物見遊山ではなく、「地域の暮らしが生き生きしているさまを見る」ことである。それは湯沢ならではの「もの」「文化」「生活様式」が大切だと考えるが、町長は湯沢町の誇れる観光資源はどんなものだと認識しているか。



湯沢町史

**答** 谷川連峰の自然体系や苗場山頂の湿原、荒戸城跡、石白古銭等と合わせて近年の観光施設などがある。

**問** 湯沢ならではのものを、ここにしかない暮

らしが私たちの文化であり誇りである。自然も重要な観光であるが、むしろ文化こそが観光資源である。

文化とは土着された信仰・知識・芸術・道徳・慣行などである。本来は親から子へ、また地域学として学校で

もっと熱心に教育すべきである。

外国人が湯沢に来たときに湯沢の文化とは何かを伝えることができる町民がどれだけいるのか。

歴史を振り返るなら、1万年間続いた縄文文化の初期に営まれた世界最古旧大刈野遺跡出土品や縄文時代中期の火焰土器のムラである川久保遺跡の出土品、中世の秋葉山城跡や荒戸城跡、近世宿場跡である三俣宿、さらには近代文学の金字塔である川端康成、関連など、「文化財」として括れる対象が数多くある。

これら貴重な文化財を専門的に保存・保護し、調査研究し、さらに観光資源として活用



苗場山頂湿原

できるスペシャリストとしての文化財専門員、ぜひ専門職の雇用を検討していただきたい。

**答** 昨年度、学芸員有資格者を一般職として採用している。今後はその職員を担当部署に配置し育てていきたい。

**問** 東京五輪の聖火台に火焰型土器を模してほしいと泉田知事も運動している。湯沢町としても積極的な関与をしていただきたいが、いかがか。

**答** 検討していきたい。



白井 孝雄

質問

# 旧神立小学校・神立保育園の今後の活用は

## 答 弁 企業誘致・避難所として使用したい

**問** 旧神立小学校は耐震設備がされていません。現状のまま何年も待つわけにはいきません。

**答** どこかで決断しなければなりません。そのタイミングは。

**答** 各旧小学校との整合性をもって決断する。今、何年とは言えないが短い期間の中で結論を出す。

**問** 使用していない建築物の劣化が予想以上の速さで進んでいると思う。

十分な説明をしながら結論を出してもらいたい。

**答** 今後の管理・維持費等を考えると、いつまでも待つわけにはいかない。しっかりと経

過説明をしながら進めたい。

**問** 神立保育園については、3年前に神立区長会長名で、避難所・集会所としてずっと使用できるようにと要望

書がでていたが。  
**答** 要望書は承知していませんが、調べてそういう要望があるのとこのことです。小学校を含めて今後検討する。

## 質 問 湯沢中学校スキー部の合宿を姉妹都市ソルトレイクで行っては

答 弁 難しい問題もあるが、今後十分検討する

**問** 湯沢学園のスタート、ワールドカップ開催決定の今こそ、全国に誇れる強化体制を作り、オリンピック・ワールドカップ等活躍する選手育成に取り組むべきでは。

**答** 小・中合同のトレーニングを含め、先生方の意向をふまえ強化体制の充実をはかる。スキー関係者の協力をお願いしたい。

**問** 布場スキー場を専用ゲレンデとして使用できないか。

**答** どういった時期・

どういった場所です。トレーニングするのがベストか考え、スキー場のご理解をいただきたい。から決めていきたい。

## 質 問 サルの駆除が必要と思うが

答 弁 オリによる捕獲が中心となりなかなか捕れない

**問** テレメトリー発信器による調査が南魚沼市では進んでいる。5つの群れの居場所・移動先を週4回携帯電話のメールで知らせている。湯沢でもそうしては。

**答** 湯沢町では4頭に発信器を付けて追っているが、電波がうまくひろえていない。今後たくさん発信器を付けて、湯沢ではどうするか検討していく。

**問** 今年の秋は山の工サが不作で、たくさんサルのクマの出没が心配されているが、早急な対策を。

**答** 町民の皆さんが困っていることは承知している。専門家とも協議して対策を考えていく。



サル・熊への対応は

質問

# 道路改良の約束事について



半澤利貞

## 答弁 費用対効果を考えて難しい

**問** 上越線荒谷踏切除去で南田中線の立体化が叫ばれ、同時に田中踏切除去で、田中から原新田線の改良が地域の条件であった。測量も終わり、地下道・高架橋と2案があったが、両案とも土地がつぶれるだけでメリットがないのと、在来線の通行が少ないことから、平面交差を望み警報機と電車通過時の安全バーも取り付けてもらっている。

**答** 現地を担当者と見てきたが、費用対効果を考えて難しい。  
**問** 40年も前の課長の約束で大野原3号線を作った。道路ができてから道路認定？ 樹木の剪定といいながら根元から伐採、しかも後から予算を付ける。できない理由より云々。安心安全…。道路は一度造れば永久に残る。  
 かつて堰場から松川線の堰の川西側に元の軽便道を利用して荒谷線に接続することにより、災害時の安心安全が保たれる、と提言してまいりました。今こそ松川から荒谷線を開設することによって、毘沙門様も世に出るし、猿熊の工サを作つたらんねえと作付けを止めている畑ばかりだ。(高齢化のためもある) 荒らしておくより町が借り受けて菜花を植え、はちみつを取った

り菜種油を取つてもいい。合宿のマラソンコースにしても効果がある。  
 南田中線も平成4年12月の供用開始で13億7400万円もかけた失敗作だった。なぜなら幼い頃に遊んだ多聞天の大杉・観音杉・天狗杉を世に出さず殺してしまった。別ルートを提案したが理解が得られなかったのが残念だった。  
**答** 平成13年8月22日の台風で、松川く堰場の迂回路に4150万円かかった。道路が重要な課題と理解している。様々な提言をいただいたが、参考にして対処する。



田中・原新田線の踏切対策は

質問



関 忠 夫

# 公共施設の敷地内に喫煙所の設置を

## 答 弁 現時点では設置しない

**問** 現在、湯沢町の公共施設内・敷地内すべて禁煙となっており、会議や観光で来町した方が困っている。特に会議の休憩所に公道（歩道）に並んで喫煙している姿が見受けられます。

**答** 「見た目が悪い」「観光の町湯沢にはふさわしくない」「なんとかならないのか」と町民の声を多く耳にします。喫煙所の設置をしていただきたい。町は対応していただけるか、うかがう。

**問** 平成23年4月1日から全面禁煙しましたが、どんな経過で誰と協議して決めたか。

**答** 現時点では喫煙所の設置はしない。

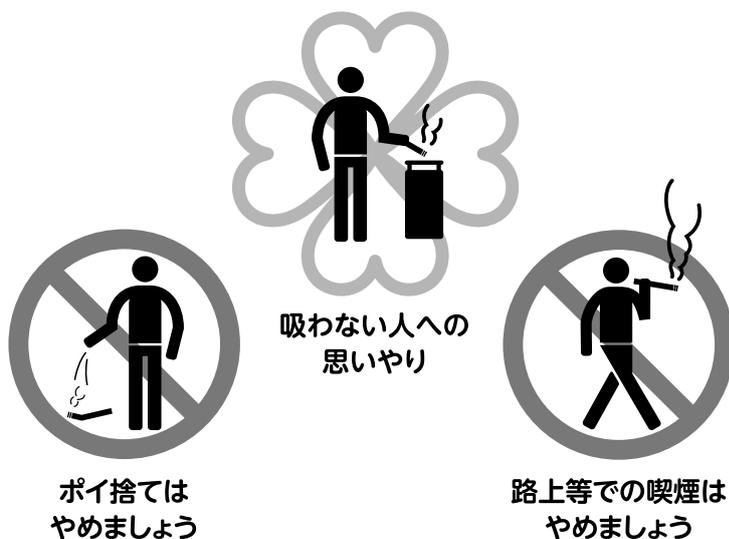
**答** 町民数名から禁煙してほしいとの声があり課長会議で決めた。

**問** 一度決めたことをあらためて設置することとは難しいか。町民から喫煙所の設置を求める声も多くある。

**答** 「プラン・ドウ・チェック・アクション」という言葉がある。「計画・実行・見直し・行動」という意味であり、特に見直しをすることが大切である。見直しをするか、うかがう。

**問** 町民から喫煙所を設置してほしいとの声がないので、設置はない。

# ゆざわ たばこマナー



No smoking on streets

質問

# 湯沢高原の運営と駐車場対策は



岸野 雅人

## 【答】 布場ゲレンデは閉鎖せざるをえない

**問** 現在、ハイランドパーク(株)との5年契約のなかば、次の運営者候補は他社の可能性はあるか。評価はどうか。また提案の公募やその方法など考えているか。

**答** 堅実円滑な運営に一定の評価をしている。ハイランドパーク(株)との契約更新を考えていて、提案の公募等は検討していない。

**問** 累積欠損金の解消が進み、平成27年度から、地代が約1500万円、さらに500万円ほどの使用料収入が予想される。

**答** この原資は駐車場整備など、計画的な再投資に充てるべきと考えるがどうだ。

**問** 使用料は植栽や債

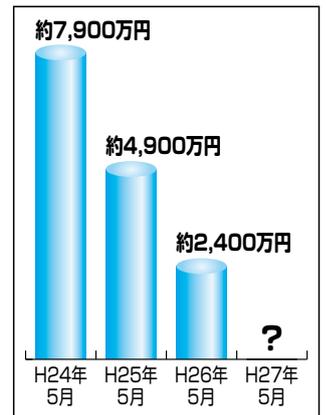


今年度末で累積欠損金がなくなりそうな湯沢高原ロープウェイ

務負担行為(借金返済)に充てる。

**問** 駐車場の設置はスキー場の魅力が増し、冬の収益改善につながるが、地域経済の支えになる。

場所を布場ゲレンデとロープウェイ施設の



累積欠損金の推移

間にすれば、布場A線側はファミリー層と荒天時の修学旅行用に対応でき、またA線B線

ともに競技用練習パークとしての活用も考えられる。

**答** 布場スキー場の営

業延長はしたが、閉鎖せざるをえなくなっている。駐車場整備も慎重にならざるをえない。

## 【質】 湯沢高原と温泉通りの駐車場対策は

**【答】** 整備はない。まず、通りの魅力

**問** 今後も新幹線高架下が使えなくなる可能性は高い。越後湯沢駅から温泉通りのまちづくりとの関連性で考えられる駐車場候補地と計画はあるか。

**答** 具体的な整備はない。

**問** 雪国館裏、自動精算方式はどうだろう。

**答** まず通りの魅力が必要。

## 【質】 『シツパネ条例』を考えてみよう

**【答】** 条例ではなく広報で呼びかける

**問** ホスピタリティーマインドに基づく、人によさしい観光地づくりを目指す、議会提案で『湯沢町シツパネ被害根絶に関する条例』の制定を試みたい。行

**答** 政の考えはいかがか。

**問** 町としては条例制定の考えはない。

**答** 警察とも協力して、広報など担当課で取り組みを強化したい。



南 雲 正

質問

# 新潟県のデータセンター誘致に対する町の対応は

**答弁** 県の求める規模が大きく条件費用等を考えて応募しなかった

**問** 新潟県はデータセンター誘致に向け、県内20か所で実地調査を行い、売り込みを始める。

**答** 条件は降雪量、雪を集めやすい立地、通信環境や電力供給の良さ等であり、わが町はいずれにおいても適格地である。

**問** データセンター周辺にはIT関連企業進出の可能性もあり人口や税収の増加も見込めるが、どのような対応をしたか。

**答** データセンターの雇用効果は大きくない。企業誘致は定住人口増加の視点からの雇用効果を求めたい。

質問

**問** 全国童画展、パリ特別展の成功を踏まえて、童画の町湯沢の拠点施設としての童画美術館の建設を急げ

**答弁** 立地条件や財政状況を総合的な観点から勘案して検討する

質問

**問** 川上四郎展を開催以来20年、「越後湯沢全国童画展」も18回の歴史を重ねてきた。今春4月には、湯沢の童画文化を世界に発信するパリ特別展が開催されるが、どのような対応をしたか。

**答** 「童画のまち湯沢」実現に向けて、美術館建設基金1億円を活用して、地域要望もある

**答** 駅東側に童画美術館を建設し、童画文化の発信基地整備を行う必要があると思うが。

**問** 駐車場がなければ客は来ないので、提案の場所も候補地として検討していくが、雪国館併設も含め効率よく運営できる場所を検討したい。

質問

**問** 児童クラブの環境整備と充実で子育て支援、人口増加対策を

**答弁** 専用の教室が完成するまで施設利用を工夫し、保護者が安心して預けることができるよう配慮する

**問** 専用教室が完成するまで児童クラブの環境は縮小されることになるが、1年限りとはいえ児童クラブの子ど

**答** もたちが今まで通りストレスを持たず元気に活動できるスペースを確保してほしい。児童クラブの環境整



童画・美術館建設の可能性は

**備・充実**は両親が安心して働くことができ若い世代の定住人口の増加につながる重要な施策と考えられるが、**教育長** 認定こども園棟が完成するまでは施設利用を工夫し、で

きるだけ児童にストレスを与えないような運営を心掛ける。**町長** 定住促進による人口増加のためには、児童クラブの充実も必要な施策として真剣に取り組みたい。

# この人に 会いました



湯沢町ボランティア連絡協議会 会長  
湯沢町災害ボランティア協会 会長

**駒形虎次郎** さん

## はじめに

温暖化等の地球環境の変化により、今までは何千年、何百年に1回しか発生していなかった大災害がここ数年は頻繁に発生している状況にあります。

## 湯沢町における災害ボランティアの活動

平成16年に発生した7・13中越水害、10・23中越大地震から今年で10年目。当時、湯沢町からも主に中越水害では中之島地区、中越大地震では川口田麦山地区に多くの町民が支援活動に入りました。

この災害を契機に平成17年、湯沢町災害ボランティア協会が結成され、以降18豪雪、中越沖地震、東日本大震災、南魚沼・長岡水害等、立て続け



南三陸町ガレキ処理

に発生した大災害にもたくさんボランティアや関係団体が支援活動を行いました。

特に、東日本大震災では陸前高田市、南三陸町に2年間、延18日間約100名のボランティアに発生した大災害にもたくさんボランティアや関係団体が支援活動を行いました。

災害が発生した場合には行政（自治体）と災害ボランティアの役割があります。行政は避難情報や被害状況、人命の安否確認、ライフラインの復旧・復興等が主な役割とされています。

ボランティアは行政が対応できない被災者の生活環境支援（被災家屋の片付け、瓦礫や土砂の撤去等、避難所における炊き出しや風呂等の手配）、ソフト面におけるいろいろなケアや被災地域への情報提供等が主な役割とされています。

## 災害発生地域と災害ボランティアの連携

突然襲ってくる災害、それは時と場所を選びません。外部（自衛隊、消防、ボランティア等）からの救助体制が整うまでには概ね3日間と

されています。それまでは町内を中心とした各地域で全ての処理に当たらなければなりません。

特に外部からのボランティア隊は地域の事情が分からないため、日頃から自主防災組織等により訓練し、防災意識の高いまとまりのある地域にはスムーズな支援活動に入れます。今まで多くのボランティア活動の現場を見ていると、日頃からの取り組みの差がはつきり表れています。

## 町内自主防災組織活動の重要性

湯沢町における自主防災組織率は他の近隣町村に比べてかなり低い状況にあります。これは行政を含め町民全体の危機管理意識が希薄のようには思われます。

湯沢町は今まで比較的災害の少ないのもその一因かもしれませんが、今後いつどんな災害が発生するかは全く予測できません。各町内ともしっかりと防災意識を持って日頃の訓練を積み重ねておかないと、非常時には何も対応できないということを実感する必要があります。

## 編集後記

議会だよりや議会日程案内は議員が作り、なるべく見やすく誤字脱字がないようにチェックをしています。しかし肝心な情報や連絡を必要などきに必要な方に届けることは難しい課題です。

町政には一人でも多くの方が関心を持っていただき、議会の活動を理解していただけるように、若者や新聞未購読者の方にはソーシャルネットワークなどを活用できないか等も考え、工夫をしていきたいと思っております。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

広報委員 高橋 五輪夫

### 広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井 孝雄

委員

岸野 雅人・高橋 綾夫

関 忠夫・高橋 五輪夫

編集 湯沢町議会

広報常任委員会